

★ 2022年3月6日(日)

～艶やかな歌声でオペラの名曲を楽しむ～ 山田由紀子 ソプラノリサイタル

オペラに解説を交えた独自のスタイルでオペラの振興に力を注ぐと同時に若手の育成や指導、実業家としても活躍する群馬県出身のソプラノ歌手 山田由紀子さんをお迎えし「山田由紀子 ソプラノリサイタル」を開催いたしました。共演はクロアチア音楽の第一人者として研究と普及活動に尽力するピアニスト 安達朋博さんです。

第一部は「ウィーン、わが夢の街」(ジーツィンスキー)、「愛の小径」(プーランク)、「私は創造の神の卑しい僕」(チレア)、「私のお父さん」(プッチーニ)といったオペラの名曲の数々を演奏してくださいました。曲間にそれぞれの曲のあらすじや登場人物の心情を分かりやすく説明してくださいました。情景を思い浮かべながらお二人の作る音楽の世界に浸ることができました。

第二部は「別れの歌」(ショパン)で幕を開けました。安達さんによるピアノソロでは、クロアチア初の女性作曲家 ドラ・ペヤチェヴィッチの「バラ」を演奏してくださいました。繊細なピアノの旋律が印象的な美しい音色に触れることができました。さらにお二人は「見上げてごらん夜の星を」(いずみたく)、「千の風になって」(新井満)といった名曲を息の合った演奏で披露してくださいました。最後は「歌に生き、愛に生き」(プッチーニ)を情緒豊かに歌い上げ、会場は大きな拍手に包まれました。様々な制約のある中での開催となりましたが、「歌う目的は愛と平和」というテーマを掲げ活動する山田由紀子さんの愛に満ち溢れた歌声で温かい雰囲気の中、終演となりました。

